



しんごうのその便り

社会福祉法人 神郷の園

〒719-3611

岡山県新見市神郷下神代 1955 番地

Tel (0867) 92-6311 Fax (0867) 92-6008

E-mail : shingonosono1985@ybb.ne.jp

新型コロナウイルス来年こそは

施設長 上山 晋

早いもので、師走となりました。一昨年の今頃、中国から発生したコロナウイルス感染症は、昨年と今年、世界中で猛威を振るい続け、人々を感染の恐怖に包み込みました。経済は停滞し、市民生活も自粛と不安の日々が続き、日常生活がすっかり味気無いものになってしまいました。

しかし、日本では、ワクチン効果なのかわかりませんが、感染が急激に収まって、少しずつ人々の動きも活発になっていきます。油断は禁物ですが、このまま終息に繋がって欲しいものです。

さて、来年の十二支は寅です。干支は「壬寅（みずのえとら）」です。五つある寅年の中でも、やさしい寅だそうです。引用ですが、「壬寅」は「厳しい冬を超え、春の芽吹きは生命力にあふれ、新たな成長が生まれる。」というイメージだそうです。コロナ感染症が収まり、新たな日常が始まる予感がします。新しい年が、行動制限なく、いろんなことにトラ（寅）イできる明るい年になり、家族会の活動も元通り実施できることを願うばかりです。

令和4年が、安全で平穏な一年になるとともに、御家族の皆様も、御健康ですばらしい新年を迎えられますようお祈りいたします。

スボレク祭代替行事

実行委員長 逸見 建友

11月19日（金）令和3年度神郷の園スボレク祭を父母の家に開催しました。コロナウイルス感染症対策のため、昨年度に引き続き支援員と利用者の方のみでの代替開催となりました。恒例となりました〇×クイズでは、支援員の牛乳早飲み対決などの問題も取り入れ、予測できない答えを楽しみながら考えられていました。その他にサイコロ投げやお菓子取りなどでおられました。



その後の会食では食堂で、施設で収穫した野菜を中心に使用した神郷鍋など、創意工夫された料理を召し上がっていただきました。準備では先輩方に多大な負担をおかけしましたが、利用者の皆さんが無事に行事を終えられたことにほっと胸を撫で下ろしております。ようやく県内でもウイルス感染者ゼロの日が出るようになりました。一日も早く以前の生活を取り戻すことが出来るよう、願っております。



おでかけ支援（やぎ牧場）

引率担当職員 森 恵

11月26日（金）新見市西方のさーちゃんミニやぎ牧場を利用者さん5名と行ききました。前月も別なグループが行き、やぎと一緒にいたポニーがとても可愛くて利用者さん達に好評だったので、今回も楽しみに行きました。園内にはポニーややぎ以外にも人に慣れた猫もいて、膝の上に乗ってきたのでみんなで撫でたりしてふれあいました。たくさん動物達に癒された一日でした。



自治活動（温泉入浴）

引率担当職員 西川 宏明

11月27日（土）自治活動の一環として肌寒くなってきたので、バスに揺られて、神郷温泉に行きました。向かう途中の景色はすっかり秋から冬に変わっていました。普段の生活では順番に入浴しますが、この日はみんなと一緒に大きな浴槽に浸かって、体の芯からポカポカと温まりました。近くへの外出でしたが、大変喜んでいただけようでした。



たまねぎ植え

11月6日（土）今年も施設内の圃場にたまねぎの苗一万本植えました。職員が1本1本手でいねいに植えて行きました。昨シーズンは一部病気等の影響で小ぶりでしたが、今シーズンは今のところ順調に生育しています。来春には大きく育ったたまねぎを皆さんと一緒に収穫し、給食で味わいたいと思います。



利用者異動

11月1日（月）昨年入所された利用者の富澤美彩都さんが総社市の障害者支援施設 吉備路学園に異動することになり、午前中にお別れ会を行いました。また、19日（金）にはケアホームしんごうに入居していた山本勉さんが阿新社会福祉事業会が運営するグループホームに転居されました。



より健康を祈ります。いよいよお祈りします。

今月の予定

- 2～15日 買物外出
- 9日 避難訓練・誕生会
中山直久さん・大前さん・岡崎さん・前原さん
國中さん・塩崎さん
- 22日 クリスマス会

■ご家族の皆様には、様々な行事へのご参加などを制限させていただき、誠に申し訳ございません。新型コロナウイルス及び季節性インフルエンザの感染防止のため、年末年始の帰省及び面会の制限を続けさせていただきますので、何卒、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

年末ご多忙の折ではございますが、ご自愛の上、穏やかな新年を迎えられますよう、お祈り申し上げます。

12月お知らせ



ミニトマト出荷が始まりました

今シーズンのミニトマトの出荷が本格的に始まりました。すでに先月中旬から市内のスーパーや直売所で販売しています。PRを兼ねてケールブルレビや地元紙の取材を受けました。たくさんのお客様に喜んでいただけたように一杯おいしくミニトマトを作って行きますので、応援をよろしくお願いします。



栽培担当 内田 敬子